LandWalker Ltd.

かるがも〔KRGM-G1.KRGM-G2.KRGM-M2.KRGM-G1-C〕

取扱説明書

Karugamo

KRGM-G1

KRGM-G1-C

このたびはランドウォーカーの自転車をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
（この取扱説明書は、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。）
お求めいただきました自転車の性能を十分に引き出し、安全にお乗りいただくために、自転車の正しい理解とご使用が必要です。
ご使用を誤りますと大きな事故につながることがございます。お乗りになる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき正しいご理解とご利用をお願いいたします。お求めいただきました自転車は当社の厳重な品質管理の下に生産されていますが、輸送中の振動で製品に緩み等が生じる恐れがあります。販売店で自転車をお受け取りになるときに点検済であるか確認してください。
同時に取扱説明書（保証書）をお受け取りになり、大切に保管してください。販売店の記入、捺印されたもののみ有効となりますのでご注意ください。

お子様や高齢者のご使用につきましては、保護者が必ずお読みいただきご指導ください。
取扱説明書はご使用の際には携帯していただくか必要なときにいつでもご覧になれるところへ大切に保管してください。

仕様変更などによりイラストや内容が一部実車と異なる場合があります。

目次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
かるがもを安全に使用するために・・・・ 3・4
自転車を安全に乗るために・・・・・・・ 5・6・8・9
前輪ロックに注意・・・・・・・・・・・・ 9
乗る前の点検・・・・・・・・・・・・・・ 10・11
正しい使用条件・・・・・・・・・・・・・ 12
主な各部の取扱いと調整・・・・・・・・ 13・14・15・16
かるがもの乗り方・・・・・・・・・・・・ 17
交通ルールを守りましょう・・・・・・・ 18
チェックリスト・・・・・・・・・・・・・ 19
仕様書・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
品質保証書・・・・・・・・・・・・・・・ 21
防犯登録について・・・・・・・・・・・・ 22

安全に関するご注意

※ご使用になる前に必ずお読みください。

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

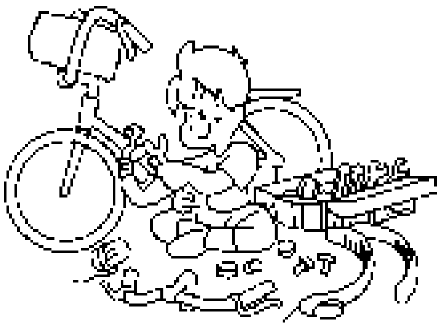
［表示マークの説明］

※正しい取扱いに関する必要事項を標示(シンボルマーク)で表しています。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。
🚫 禁止	してはいけないことを示しています。
❗ 必ず守る	必ずしなければならないことを示しています。

かるがもを安全に使用するために　⚠警告

アクセサリーや交換部品は純正部品以外は使用しないでください。
絶対に改造をしないでください。

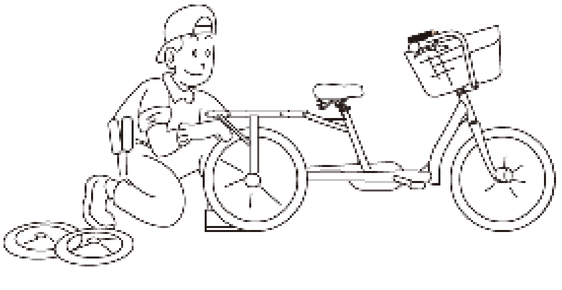


修理や分解、部品の取替等は、販売店にご相談ください。本書に記載されている調整箇所以外は調整しないでください。

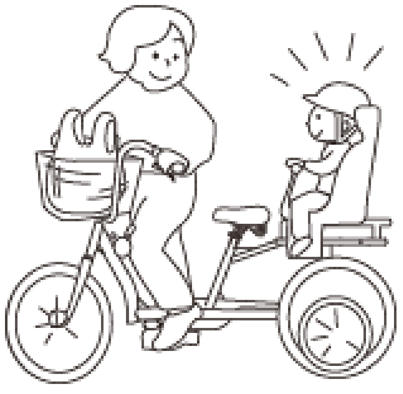
かるがもの走行特性に不慣れなうちは、車道や人通りの多い一般道で乗らないでください。
かるがもは普通の自転車に比べて安定性がありますが、慣れないうちは発車時などにふらつく場合があります。

- 慣れるまでは安全な場所でよく練習しましょう。
- 無理な走行（スピードの出しすぎ、急坂の走行）をしないでください。
  年齢や体力に合わせた走行をしましょう。

後部補助輪の着脱を行う際は必ず自転車安全整備店において行ってください。
また、同所において点検整備も合わせて必ず行ってください。

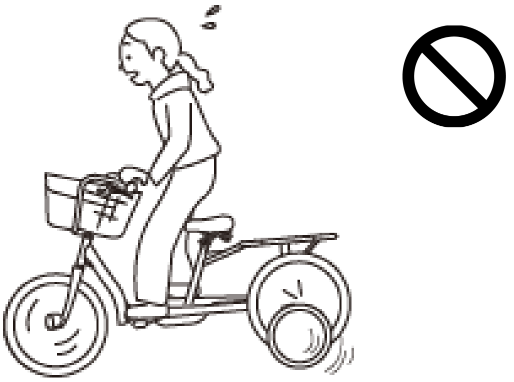


- 幼児用座席に幼児を同乗させる時は必ずヘルメットを着用させてください。
- 幼児用座席のシートベルトを着用させてください。
- 幼児を乗せたままで自転車を離れないでください。
- 幼児の体の一部が自転車の可動部に触れさせないでください。



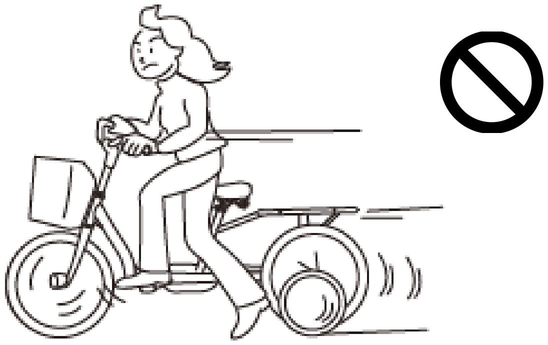
着用せずに転倒したとき、大怪我をする恐れがあります。

たちこぎしないでください。



後輪が浮いてしまう可能性があります。
その場合、後輪が空回りして大変危険です。

片足で助走をつけて乗らないでください。



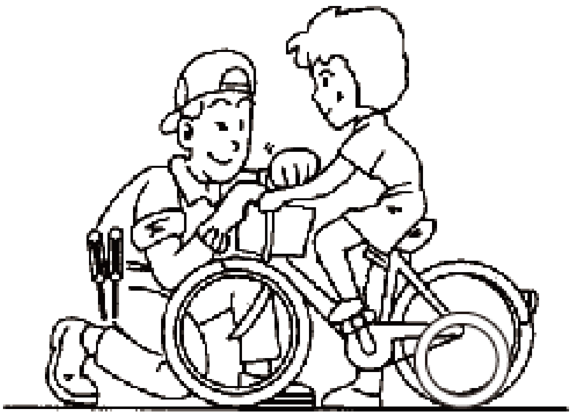
サドルにまたがってからこぎだしてください。
片足だけをペダルにかけて乗り込むと転倒する恐れがあります。

乗る前には必ず点検を行ってください。

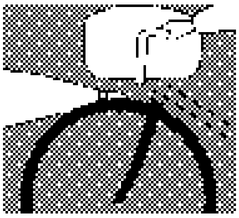
- 不明な点がありましたら販売店にご相談ください。
- 正しい姿勢で走行できるよう調整してください。お買い求めの販売店でサドルやハンドル位置などを自分に合った高さに調整してもらいましょう。

シートクランプ締め付け後、サドルが確実に固定されていることを確認してください。

シートクランプ締め付け後、サドルが確実に固定されていることを確認してください。

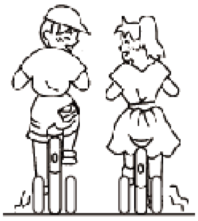


無灯火で乗らないでください。



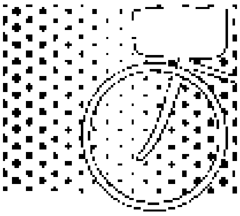
夜間は必ず前照灯を点灯してください。前照灯の明かりは、路面状態を見るのみではなく、他の車両や歩行者から視認させる効果があります。

並走しないでください。



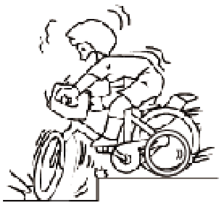
二台以上で走行する場合は、縦一列に並んで走行してください。

視界の悪いときは乗らないでください。



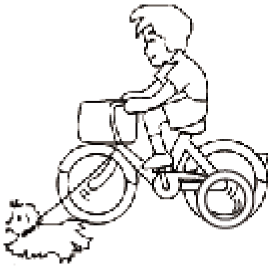
見通しが悪い時は衝突や転倒の恐れがあります。
このような場合には降りて押してください。

凹凸の激しい所は走らないでください。



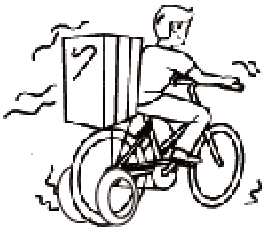
ハンドルが取られてふらついたりする上タイヤやリムを損傷します。このような場合には降りて押してください。

手やハンドルに荷物を引っ掛けたり、ペットをつながないでください。



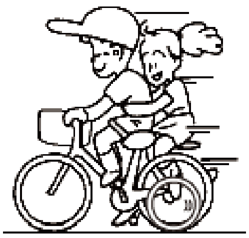
荷物やヒモが車輪に巻き込まれたり、バランスを崩して転倒し、ケガをする恐れがあります。

積載条件を超える荷物は積まないでください。



荷物を積む場合は規定の大きさや重量を守って、ずれたりヒモがゆるんだりしないようにご注意ください。バランスを崩し、転倒の恐れがあります。

二人乗りはしないでください。



二人乗りは法律で禁止されています。また、アクロバット的な乗り方や、ハブステップに乗るのは大変危険ですから絶対にやめてください。

合図をする時以外はハンドルから手を離さないでください。

危険回避など急な操作ができずに、衝突や転倒の恐れがあります。傘をさしての片手運転や携帯電話の使用等はしないでください。

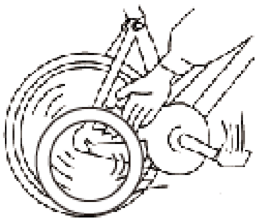
雨の日や濡れた道、下り坂ではスピードは出さないでください。

ブレーキが効きにくく、思わぬ事故や転倒によるケガの恐れがあります。特に急な坂道の上り下りは、自転車から降りて押して歩いてください。

片側ブレーキはかけないでください。

片側(特に前側)のブレーキだけをかけると、バランスを崩して転倒し、ケガをする恐れがあります。
走行中は常にブレーキレバーをすぐ引けるようにして、後ブレーキを前ブレーキより先に軽くかけてから、前後ブレーキともかけてください。

回転部には触れないでください。

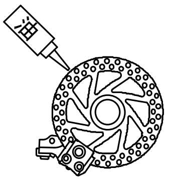


車輪、クランク、チェーン等の回転部には、手や足で触れないでください。特に掃除中やお子様が遊んでいる時など、手や足を巻き込まないよう充分ご注意下さい。

グリップが弛んでいたら乗らないでください。

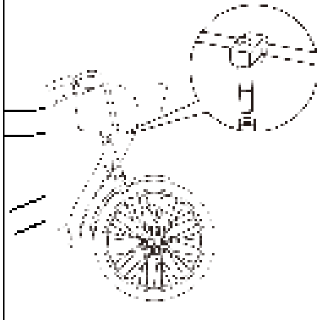
グリップの弾性が低下し回るものはハンドルから抜ける恐れがあり、大変危険です。販売店ですぐに交換してください。

ブレーキの制動面には注油しないでください。



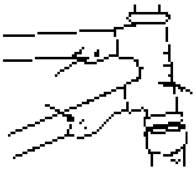
ブレーキに関係する箇所の内、ディスクブレーキローター、ローラーブレーキ内部には絶対に注油しないで下さい。
ブレーキが効かなくなり、大変危険です。

最も高くした場合でも、ハンドルのはめ合わせ限界標識が見えなくなるまで挿入してください。

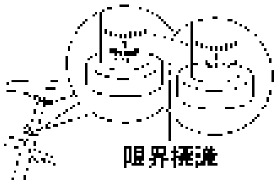


シートポストが折損してケガの恐れがあります。

異常(変形やひび、ねじの弛み等) がある場合は乗らないでください。



シートポストは限界標識が見える状態では乗らないでください。



自転車を安全に乗るために　⚠警告

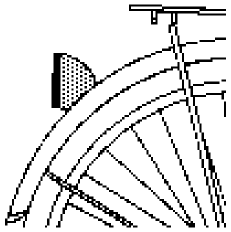
カサやステッキ釣竿などを車体に差し込んだり吊り下げたりしない。

車輪をロック(固定)させたり、歩行者にケガをさせる恐れがあります。

スポークの間に異物(ボール等)を入れて走らない。

ブレーキやホーク、チェーンカバーなどに接触して前輪ロック（あるいは後輪ロック）をおこし、転倒の原因になる恐れがあります。

リフレクターは汚れていたり破損したまま、また取り外して乗らないでください。



リフレクターは後方の車両から視認してもらう上で大変重要です。必ず汚れや損傷のない状態でご使用ください。

走行以外のことに使用しないでください。

走行以外のこと(踏み台替わり等)に使用しないでください。
転倒によるケガの恐れがあります。

ハンドルの形を変えないでください。

スピードを出しすぎるとハンドル操作が難しく、ブレーキも効かなくなり、事故を招く恐れがあって、大変危険です

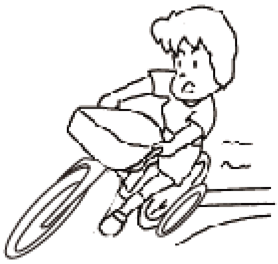
山岳・河川などでは絶対に乗らないでください。

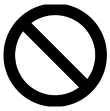
- ●病気やケガなどで、安全運転ができない時には乗らない。
- ●前カゴにペットを乗せない。

荷物を積む場合は規定の大きさや、重量を守って、ずれたりヒモがゆるんだりしないようにバランスを崩し、転倒の恐れがあります。

飲酒している時は絶対に乗らないでください。

自転車を安全に乗るために　⚠警告





●カーブではスピードを出さないでください。
側輪があるので２輪自転車に比べて曲がりにくくなります。
スピードを出すと曲がりきれず思わぬ事故を招きます。

●カーブではブレーキをかけないでください。
横滑りをおこし、転倒する危険性があります。
必ずスピードを落として走りましょう。

●カーブで曲がる側（内側）のペダルを下げないでください。
ペダルがあたることがあり、大変危険です。

●長い下り坂などでブレーキのかけっぱなしはしないでください。
ブレーキの制動部が発熱してブレーキが効かなくなり、衝突や転倒によるケガの恐れがあります。前後どちらかのブレーキレバーを時々はなして、発熱をおさえてください。特に後ろのローラーブレーキは発熱しやすいのでご注意ください。

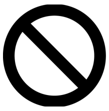
●急な斜面を横切らないでください。

●片側ブレーキはかけないでください。
片側(特に前側)のブレーキだけをかけると、バランスを崩して転倒し、ケガをする恐れがあります。 走行中は常にブレーキレバーをすぐ引けるようにして、後ブレーキを前ブレーキより先に軽くかけてから、前後ブレーキともかけてください。

●滑りやすいところでは乗らないでください。
積雪や凍結した道、工事用の鉄板やぬかるみ、軌道敷などでの運転は、スリップなどをして大変危険です。
自転車から降りて、押して歩いてください。

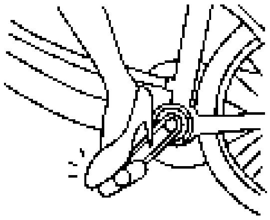
●急ブレーキをかけないでください。
急ブレーキをかけるとスリップして転倒する恐れがあります。
前方に注意して安全走行してください。

安全な服装でお乗りください。



マフラーやスソの広いスカート、またスソが広く長いズボン等の運転しにくい服装はやめてください。車輪やギアなどにからまることがあり、危険です。

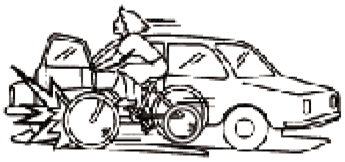
滑りやすい靴やかかとの高い靴をはいて乗らないでください。



足がペダルから外れ、転倒してケガをする恐れがあります。

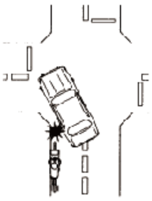
自転車を安全に乗るために　⚠警告

停車している自動車の横を走り過ぎるときは、スピードを出さないでください。



自動車のドアが急に開くことがあり、衝突の恐れがあります。

左折する自動車に注意してください。



道路の左端を走っている自転車が、左折する自動車に巻きこまれる事故がよく起こっています。
左折車の動きには十分注意し、道路の左端を走りましょう。特にトラックやバスの真後ろは死角になります。信号で停止するときなど、車道に入らないようにしましょう。

駐輪時の注意

駅前や商店街など、自転車に乗って行った先では必ず駐輪場にとめましょう。自転車は平坦な場所にとめ、くるピタをセットし、必ず施錠してください。自転車使用後はブレーキに手を触れないでください。　熱くなっている場合がありますので、やけどをする恐れがあります。

※駐車する際は必ず側輪のスイングロックを固定してください。（Ｐ１３参照）

前輪ロックに注意　⚠注意

⚠ 警　告

※前輪ロックとは、走行中に前輪の回転が急停止することです。衝突と同じくらいの衝撃があり、前のめりに頭から転倒して大事故につながります。

<u>前輪がロックされる原因は、以下のような場合が考えられます。</u>

1. ハンドルにぶら下げたバッグなどが、前輪と車体との間に入ったとき。
2. 前カゴに入れたバンドや細長いヒモ状の物などが前輪の間に入ったとき。
3. スピードを出していて前ブレーキのみをかけたとき。
4. 前子供乗せの子供の足が誤って車輪の間にはさまれたとき。
5. スポーク切れやその他の原因でリムが横振れし、タイヤが車体に接触したとき。
6. 衝突などで前部が曲がっていたり、ねじれていたりして、タイヤが前ホークに。当たったとき。
7. 外部から異物が車輪の間に入り込んだとき。
8. 前輪のネジがゆるんでいて車輪が傾いてタイヤが車体に接触したとき。

※ 安全には十分に注意して、走行しましょう。

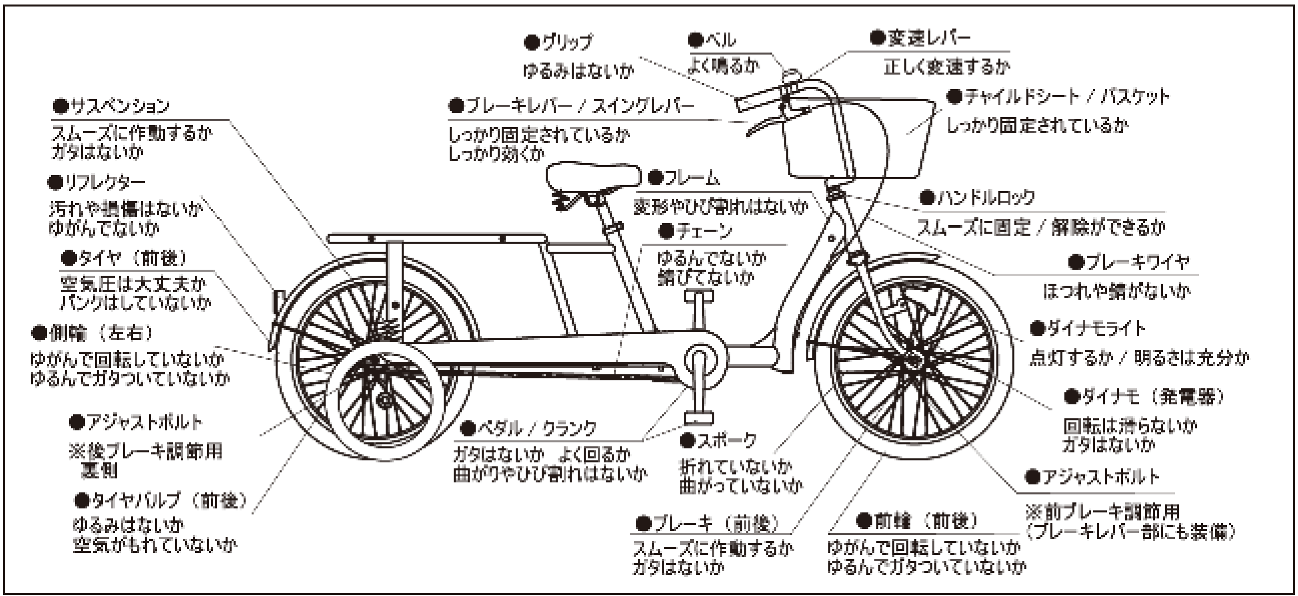
乗る前の点検　⚠注意

⚠ 注　意

★安全に乗車していただくために、乗車前には必ず下記の点検を行ってください。
★点検調整後は試乗して異常がないことを確認してください。
★異常や不明な点があったら乗車せずに、販売店にご相談ください。

必ず守る

●ブレーキワイヤは、異常がなくても一年に一回は交換してください。
●タイヤは、設置面のトレッド溝が一部でもなくなる前に交換してください。
●ディスクブレーキのパッドは、0.9mm まで磨耗したら交換してください。
（KRGM-G1-C を除く）



●正しい乗車姿勢がとれますか

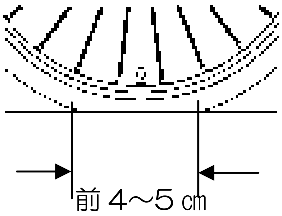
サドルに座ったときサドル、ハンドル、ブレーキレバーの位置は適正ですか。

●タイヤはパンクしていませんか

乗車されるときには、パンクの確認をしてください。タイヤを押してへこむ場合はパンクしている可能性があります。

●タイヤの空気圧は十分ですか

前タイヤは、乗車時に地面との接地長さが約４～５㎝になるのが標準です。
後タイヤは、乗車時に地面との接地長さが約９～１０㎝になるのが標準です。

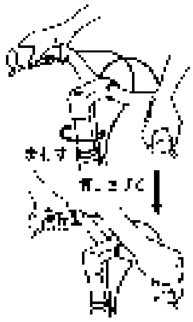


●サドルはしっかり固定されていますか

サドルの高さと前後位置を、販売店で調整してもらってください。
調整後は円滑なペダリング、ハンドル、ベル、ブレーキ、ギアチェンジ等の操作が確実に出来るか、必ず乗車して確認してください。

●ハンドルはしっかり固定されていますか

動きはないか。また、前輪に対して直角についているか。
※確認は、大人が左右のグリップを持って、前輪二つを両足ではさみ、上下左右に動かそうとしても動かないこと。
そして図の様に両手で押し下げても、動かないこと。
また、グリップがゆるんでいないか確認してください。

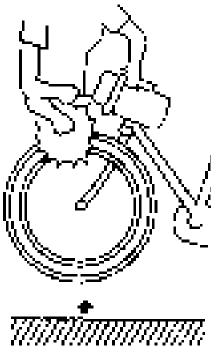


注 意

★安全に乗車していただくために、乗車前には必ず下記の点検を行ってください。
★点検調整後は試乗して異常がないことを確認してください。
★異常や不明な点があったら乗車せずに、販売店にご相談ください。

●車輪はしっかり固定されていますか

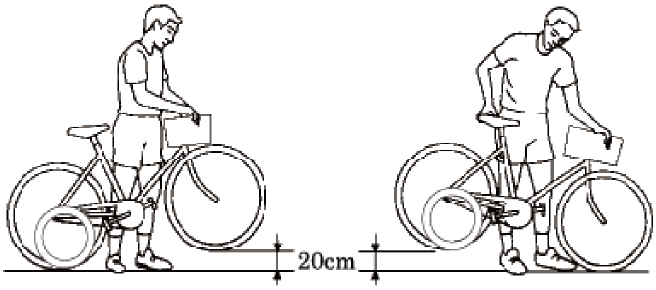
自転車を持ち上げてタイヤを上から強く叩いたとき、車輪がしっかり固定されているかどうか。



車輪を地面から浮かす

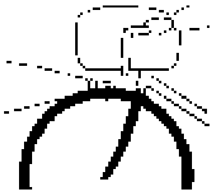
●各部のネジはゆるんでいませんか

自転車の前輪と後輪を別々に 10～20 ㎝ほど持ち上げて軽く落とし、異音や取付けのズレがないか確認します。異音がする場合はボルトやナットがゆるんでいます。



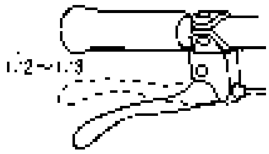
●ライトは点灯しますか

出かける前にライトが点灯するかどうかを確認してください。
点灯しない場合はランプ(電球)を交換するなど、点灯するようにしてください。

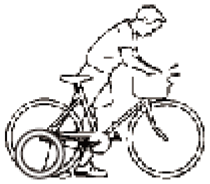


●ブレーキはよく効きますか

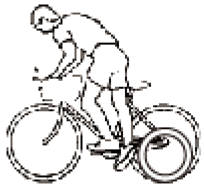
左右のブレーキレバーを握って操作した時、レバーとグリップとの間が１/２～１/３になるまでにブレーキが効きますか。



★ブレーキの効き具合の簡単な点検方法の例



前ブレーキの点検



後ブレーキの点検

前ブレーキの点検：
前輪を地面に強く押し付けて、前ブレーキをかけながらハンドルを前方に押したとき、前輪が回るかどうかを点検します。もしこれで回るようならブレーキのききが良くないので、整備が必要です。
（このとき、サスペンションの沈み込み分でタイヤが回転しているように感じます。ご注意ください。）

後ブレーキの点検：
前方水平にした状態で、後ブレーキをかけながら片足でペダルに乗り全体重をかけたとき、後輪が回るかどうかを点検します。もしこれで回るようならブレーキのききが良くないので整備が必要です。ブレーキレバーの作動には、特に注意しワイヤのサビ、折れ曲がりがないか確認してください。サビや折れ曲がりがあると、ブレーキレバーの作動が重かったり、ブレーキが効かないことがあります。

★お子さまが運転される場合は
ブレーキレバーに指がとどいているかどうか確認してください。又、ブレーキのかけかたをくりかえし教えてください。

正しい使用条件　⚠注意

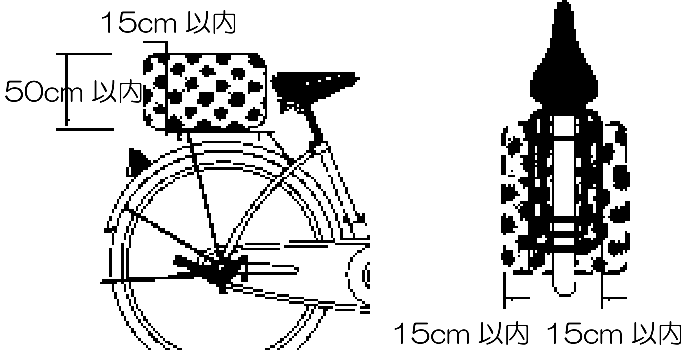
⚠ 注意

★安全に乗車していただくために必ず下記の使用条件を守って、正しく取扱ってください。

●最大積載重量

かるがものリアキャリアには最大30kgまでの荷物、または 22kg 容量の幼児用座席を取り付けて、幼児を乗せる事ができます。

リアキャリアの荷物積載



※運転者(成人)が乳児をおんぶしている場合は運転者と一体とみなされ、もう一人、補助椅子に子どもを乗せる事ができます。

※地域により認められない場合があります。各自治体で事前確認をお願いします。

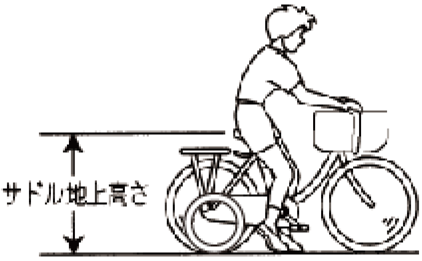
●推奨乗用速度：8～12km/h（スピードの出しすぎは危険です！安全速度を守ってください。

●標準乗員体重：65kg

乗員体重65kg で基本設計されています。従いまして著しくオーバーした体重の方が常用された場合は、消耗度合、劣化度合が大きくなりますので、品質保証を致しかねる場合もあります。
あらかじめご了承のうえで、ご使用願います。

●標準適応身長

身長にあったサドル高さは、サドルにまたがった状態で、両足のつま先が地面につくように調節してください。



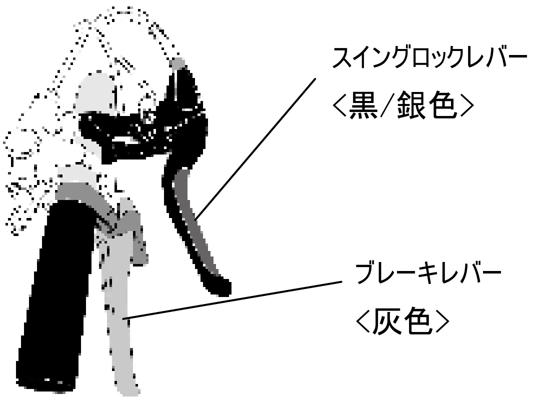
適応身長

かるがもマザー145cm 以上

かるがもグランド 140cm 以上

かるがもコンパクト 140cm 以上

●ブレーキレバーとスイングロックレバーの説明



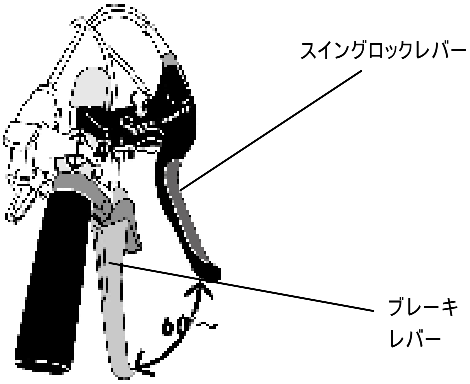
●スイングロックレバーとは
レバーを握ると後左右の側輪の動きが制限されます。
ロックすると（下記使い方参照）固定されてスタンドがわりになります。

●ブレーキレバーとは
レバーを握るとブレーキがかかります。
ロックすると（下記使い方参照）固定されてブレーキはかかったままになります。

注　意
スイングロックレバーはスピードが出ているとき、カーブのときに使用しないように注意してください。

警　告
〔取り付けについて〕

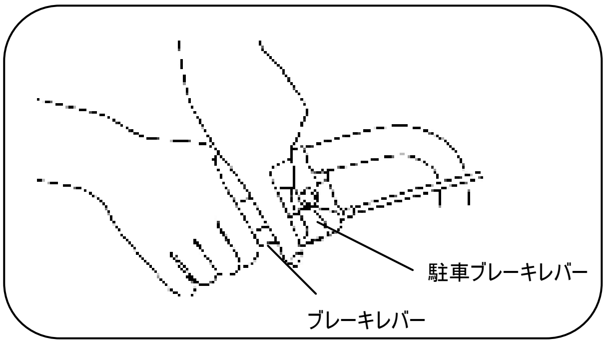
誤操作を防ぐためにブレーキレバーとスイングロックレバーの取り付けは必ず以下の間隔を空けてください。
●角度を60°以上をあけてください。
●前後に4cm以上離してください。



●駐車ブレーキの使い方

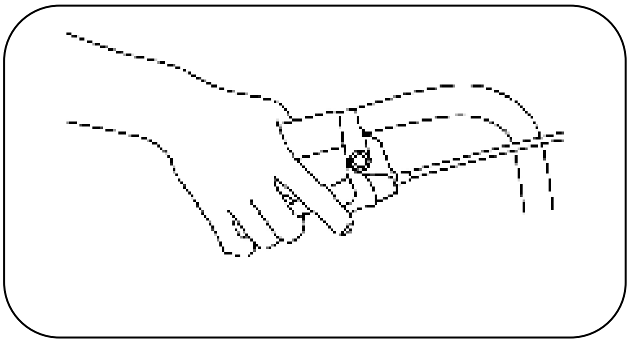
① ブレーキレバーを強く握り、指で駐車ブレーキレバーを押し込んだままブレーキレバーをゆるめます。
駐車ブレーキレバー及びブレーキレバーは固定され、駐車ブレーキレバーから指を離してもブレーキはかかったままになります。
駐車ブレーキを解除したい時は、レバーを強く握ると、駐車ブレーキレバーが飛び出しロックが解除されます。
※スイングロックレバーの固定についても同様に行ってください。

＜両手を使う場合＞

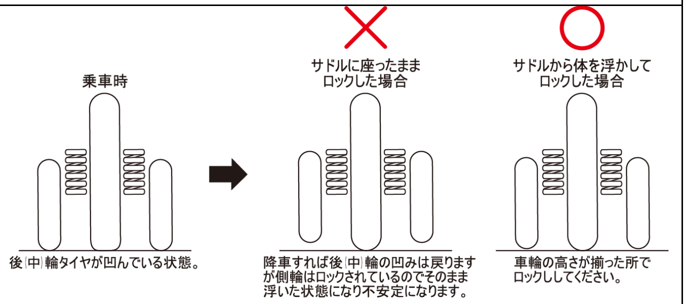


＜片手を使う場合＞

ブレーキ/スイングロックレバーを握りながら、駐車ブレーキレバーを押します。



注　意
スイングロックレバーを固定した後に降車すると側輪が少し浮き上がります。
確実にスタンド機能を果たすためには、サドルから体を浮かしての凹みが戻ったところでスイングロックしてください。



主な各部の取扱いと調整

●くるピタ(ハンドルロック)の取扱い

くるピタは、駐輪時にハンドルがふらつくのを防止する装置です。

強制　走行するときは必ず解除してください。

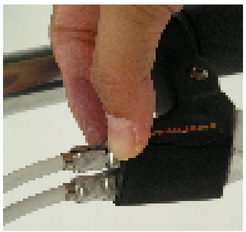
ハンドルを固定する場合	ハンドルを解除する場合
リングを“**とまる**”の方へ、動かなくなるまで回します。	リングを“**まわる**”の方へ、動かなくなるまで回します。

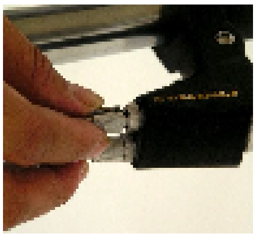
※リングが回りにくい場合はハンドルを左右にゆすってください。

●Wレバー・スイングロックレバーの取扱い

注　意　Wレバーは、側輪のスイングロックを同時に作動させるものです。乗車前に必ず点検を行って、タイヤが同時に停止することを確認してください。

ロックナットを解除	アジャストボルトで調節
まずロックナットを解除します。 ※調節が完了したら締め直して再び固定します。	利きが悪い方のアジャストボルトを反時計回しして、利きを早めます。

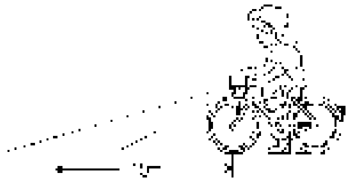




●ダイナモライトの取扱い

前方 10m位を照らすように、ライトの角度を調節してください。ライトの角度は、ライト下部のブラケット固定ネジをゆるめて調節します。

前方 10m位を照らすように、ライトの角度を調節します。



注　意

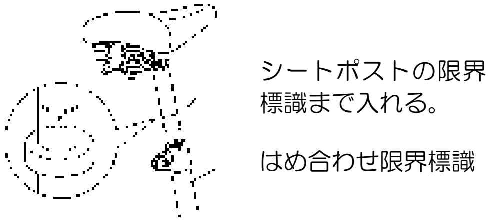
★安全に乗車していただくために、下記の調節を確実に行い、正しい取扱いをお願いいたします。これらを怠りますと、思わぬ事故につながる場合があります。
★ご不明の点がございましたら、お買い上げの販売店にご相談ください。

●サドルの高さ

サドルにまたがった状態で、両足のつま先が地面につくように調節してください。

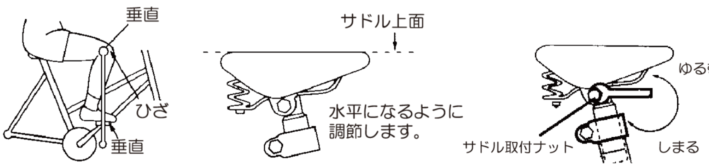
警　告

●最も高くした場合でも、シートポストのはめ合わせ限界標識が見えなくなるまで挿入してください。シートポストが折損してケガの恐れがあります。



●サドルの前後位置の調節

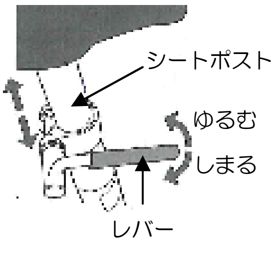
サドルの前後位置は、ペダルを斜め前の一番力のかかる位置にして足を乗せたとき、膝の中心からの垂線がペダルの中心を通る様にするのが標準です。又、角度はサドル上面がほぼ水平になるように調節してください。
サドル前後位置調節後は、サドルの先端をフレームの中心に合わせて、サドル取付ナットをしっかり締付けてください。



●サドルの高さ調整

シートクランプを5mmのアーレンキを使用し、サドルの高さを調整します。

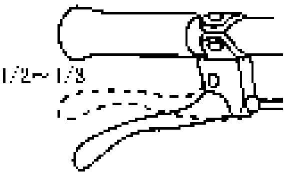
・KRGM-G1-C の場合
シートピンのレバーを「ゆるむ」方向に回すと固定がゆるみサドルは上下に調整できます。
固定する場合は「しまる」方向に回して締め付けます。



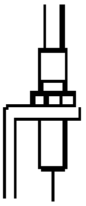
このとき引き上げ限界線が見えない範囲で上下に調整します。
※締付後サドルがしっかり固定され動かない状態であることを確認ください。

●ブレーキレバーの開き

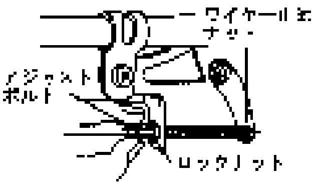
ブレーキレバーとグリップとの間隔は、レバーを強く握ったときでも指が挟まらないよう、ワイヤーを張った状態に調節して下さい。調節はアジャストボルトをゆるめるとワイヤーが張ってゆきます。



レバーの開きが 1/2～1/3 で効くように調節用



前ブレーキ調節用



後ブレーキ調節用

●右の場合は販売店に相談してください

警 告
●ブレーキ各部は、本説明書に記載以外の調節を、自分では行わないでください。

1.アジャストボルトで調節しきれない場合
2.片効きしだした場合
3.ワイヤーやアジャストボルトの調節が問題ないのにブレーキの効きが悪くなった場合
4.ブレーキワイヤーにサビやほつれの異常がある場合

●ブレーキワイヤの交換時期

ブレーキワイヤは一年ごとに交換してください。また、サビやほつれの異常を確認したときは、一年が経過していなくても速やかに交換してください。

●チェーンの調節

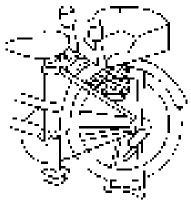
チェーンの張りは、図のように中央部で約 1.5～2.0 ㎝の遊びが必要です。張りすぎたるみすぎがある場合は、販売店にご相談ください。

チェーン中央部

●幼児用座席の取り付けと乗車の注意

リアキャリアに幼児用座席を装着する場合、幼児の足が車輪に巻き込まれない位置にカバーがついたものを選んでください。尚、装着は販売店におまかせください。
詳しくは販売店にご相談ください。

かるがも用専用取付金具（別売）が必要です.
金具を取り付けないと補助輪等の故障の原因となります。



注 意

●後部座席にお子様を乗せた場合、サドルのスプリングで手をはさまないように注意してください。
●お子様には、ヘルメットを必ず着用させてください。
●停車するときは、お子様を必ず降ろしてください。
●前・後座席とも、乗用可能なお子様の体重は、添付された取扱説明書をご覧ください。

警 告

●決してお子様を乗せたままで自転車を離れないでください。
●お子様を乗降させる場合は、必ずくるピタを「止まる」の位置にしてください。
●幼児座席を取り付ける場合には、かるがもの取扱説明書及び幼児座席の取扱説明書の指示に従ってください。
●幼児用座席に幼児を乗せる場合は、幼児用座席の使用上の注意事項に従ってください。また、幼児の体重は、幼児用座面が指定する最大適用重量以下である事を確認してください。
●前・後座席とも、乗用可能なお子様の年齢・体重等は、都道府県の条例によっても異なります。お買い上げの販売店に必ずご確認ください。
●幼児用座席（前・後座席とも）が固定されているか、必ず確認してから乗車してください。

●タイヤの空気圧について

タイヤの空気圧が少ないと、接地面積が広くなって走行抵抗が大きくなるほか、パンクやタイヤ、リムの損傷の原因になります。必ずタイヤに表示されている空気圧の範囲内でご使用ください。
表示例・・・（○○KPa, ○○kgf/cm^2, ○○PSI）
（注）換算率・・・1KPa=0.01kgf/cm^2=0.145PSI
空気圧は、タイヤ空気圧ゲージで測定する事ができます。販売店にご相談ください。

●工具の取扱いについて

日常の点検等で使用する工具類は、適切なものを販売店等にご相談のうえご準備ください。

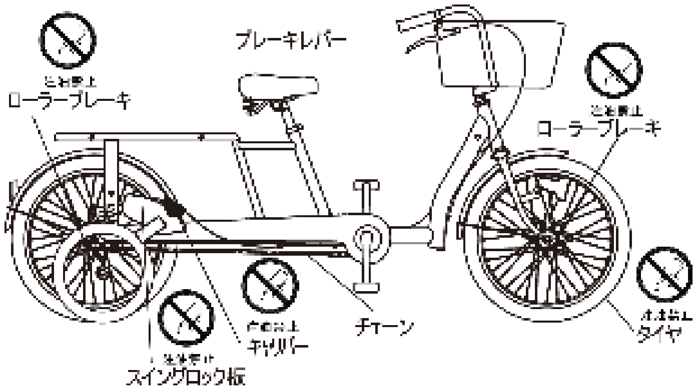
●標準予備部品について

ブレーキワイヤやタイヤ、チューブ等は販売店にご相談・お買い求めください。

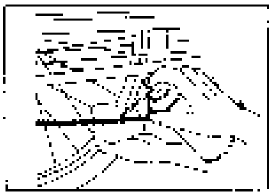
主な各部の取扱いと調整

●注油について

〇ブレーキの制動面には絶対に注油しないでください。ブレーキが効かなくなります。
〇タイヤには注油しないでください。ゴムが劣化します。
〇ブレーキレバーからワイヤへの注油は、レバーがスムーズに作動するように定期的に行ってください。
〇チェーンには油を付けすぎないでください。ゴミやホコリがついて寿命が短くなります。



前・後ブレーキレバー
ワイヤー可動部に



チェーン
クランクを回しながら

※この欄に記載以外の箇所への給油やグリスアップは、定期点検時に販売店にて実施してもらってください。

お手入れと保管（安全と品質保持のために）

■日常のお手入れ

●雨などで水に濡れたとき
よく乾燥させた後、上図に従って注油してください。
●塗装部（フレーム・ホーク）
柔らかい乾いた布やブラシで泥や土、ほこりを落とした後で自動車用のワックスをかけ、乾いた布でよく拭きとってください。
●メッキ部
柔らかい乾いた布やブラシで泥や土、ほこりを落とした後で「錆び止め油」か「機械油」で拭き余分な油分は拭きとってください。
●湿気の多い場所に置くとき
上記のお手入れの回数を増やして錆びないように心がけてください。

■ご注意

●シンナー等の有機溶剤は使用しないでください。
●回転部（ギア等）には手を触れないでください。
●サドル、ブレーキレバー、グリップなどには、ワックスをかけないでください。
●雨のかからない乾燥した場所で保管してください。
※長期間保管後再使用される場合は、販売店で点検整備後使用してください。（有料）

こんなときは

1.転倒したとき

●前ホーク、ハンドルが変形することがあります。必ずよく調べてください。
●ブレーキレバーやペダルなども、曲がったりすることがあります。変形や折損にご注意ください。

2.交通事故のとき

※万一交通事故を起こした場合は、相手が歩行者、自転車、自動車を問わず、必要な応急処置を施した後、速やかに警察に通報してください。事故処理などの一切は、警察官の指示に従ってください。

3.ブレーキが効かなくなった（ワイヤー切れ等）

※大変危険です。必ず降りて押してください。

4.異常を感じたとき（ハンドルが重くなった等）

※自転車販売店に持ち込んで、必要な点検・整備・修理を行ってください。

5.パンクしたとき

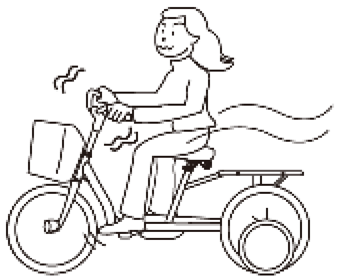
※すぐに修理してください。そのまま乗り続けるとリムやタイヤチューブまで破損させます。
※磨耗したタイヤは速やかに交換してください。

かるがもの乗り方

●発進のしかた

発進時のふらつきを抑える為にスイングロックレバーで側輪を固定します。
走行が安定してきたら、スイングロックレバーをブレーキレバーに握り変えてください。

発進時

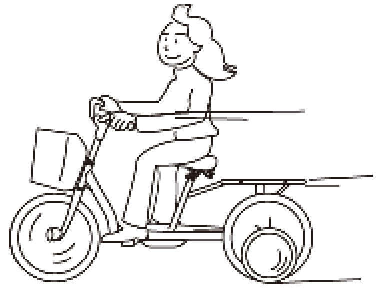


スイングロックレバーを握り側輪の動きを固定します。

（前方外側の黒いレバー）

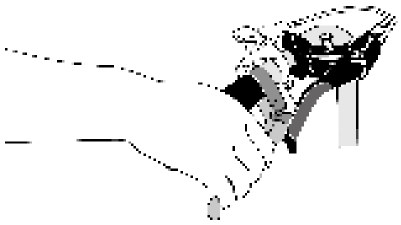
走行が安定したら

通常走行時



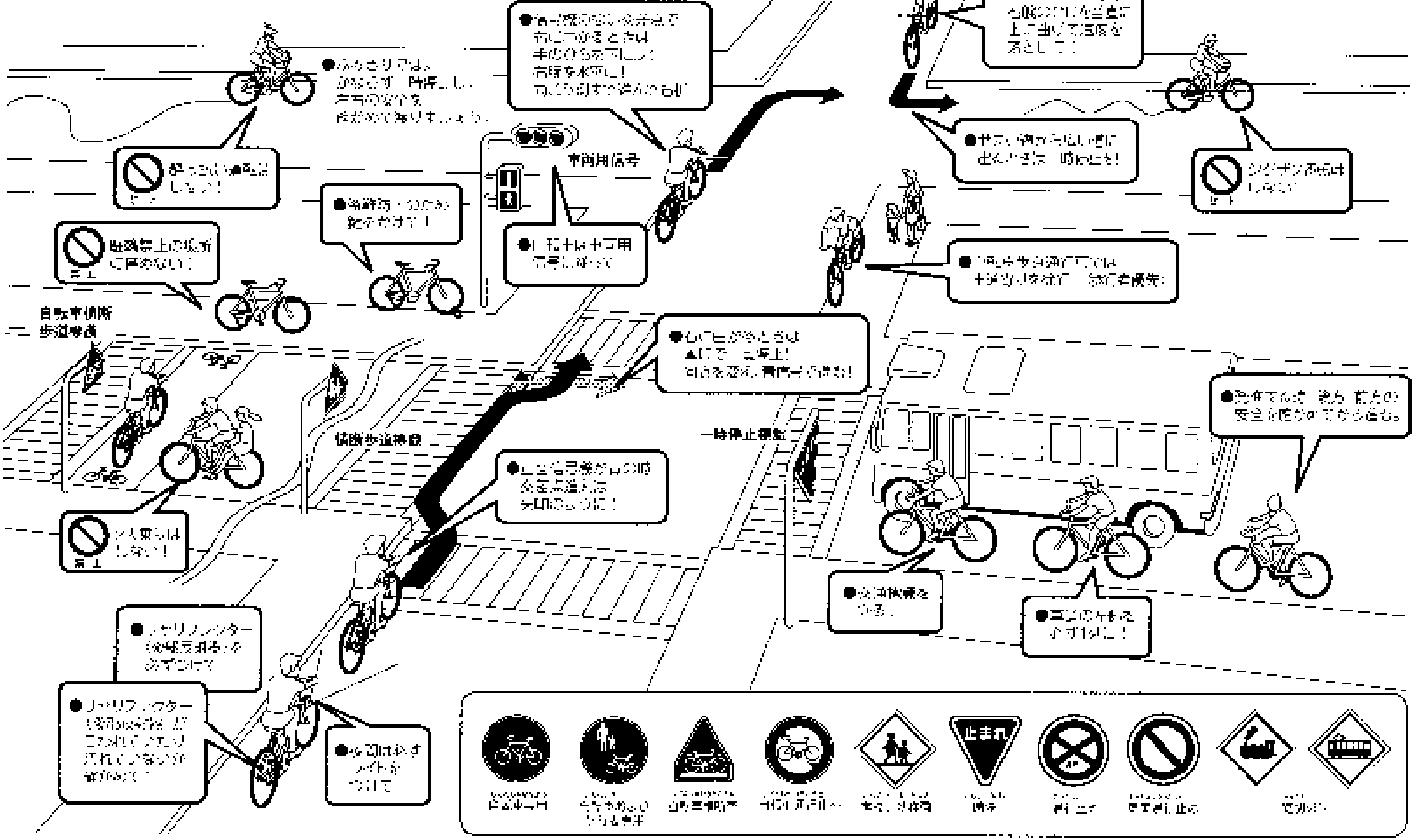
ブレーキレバーに握り変えます。
走行中はブレーキをすぐにかけられるように、手はこちらに掛けておいてください。

（後方内側の灰色のレバー）



8.交通ルールを守りましょう

・自転車で道を走るときに必要なルールです。まず、これだけは覚えておきましょう。
・小さなお子さまの場合は、保護者の方が付き添いましょう。



●点検・調整チェックリスト

※書き方…点検…良好○　不備×

	点検項目	2ヵ月以内		1年ごと		1年ごと		1年ごと		1年ごと		1年ごと		1年ごと		1年ごと	
		点検	調整	点検	調整	点検	調整	点検	調整	点検	調整	点検	調整	点検	調整	点検	調整
1	前二輪のサスペンションに、ガタや引っかかりはないか																
2	●大きさは乗り手の体格に合っているか																
	●ハンドルの高さは適当か、また固定は確実か ●乗る人の上体が少し前に傾くように、サドルの前後の位置が調整されているか																
	●サドルにまたがって、足が地にとどくか、またサドルの固定は確実か																
3	フレーム・前ホークに変形や亀裂などはないか																
4	ヘッド・ハンガー小物にガタ・摩耗はないか																
5	ドロヨケはしっかりと取りつけてあるか																
6	キャリヤ(荷台)は片寄っていないか、またしっかり取りつけてあるか																
7	スタンドの取付けと作動はよいか																
8	タイヤの空気のはいり具合は適正か、タイヤはすりへっていないか																
9	ペダルはクランクと直角になっているか																
10	クランクに曲がりはないか、ギヤクランクは、なめらかに回転し、ガタはないか																
11	ペダルはなめらかに回転するか																
12	車輪の振れ・スポークのゆるみ・軸部のガタはないか																
13	ブレーキゴム類、シュー・パット・ライニングなどすりへっていないか																
14	レバー間隔は正常で前後のブレーキはよく効くか																
15	チェーンのたるみ・張りは適正か																
16	ライトは点灯するか、ネジはゆるんでないか																
17	リフレクターはこわれていないか、よごれていないか																
18	ベルはよく鳴るか、ゆるんでないか																
19	錠の取付と機能はよいか																
20	ギヤチェンジは正確に作動するか、またチェーンがはずれないか																
21	フリーホイールの回転と注油はよいか																
22	チェーンケースの形状と取付はよいか																
	定期点検・調整を実施した販売店ならびに年月日	年 月 日	㊞	年 月 日	㊞	年 月 日	㊞	年 月 日	㊞	年 月 日	㊞	年 月 日	㊞	年 月 日	㊞	年 月 日	㊞

●点検整備のお願い
(定期点検・整備)

■お買い求め後２カ月以内に第１回目を、「第２回目」はその後1年ごとに実施してください。なお、点検・整備はお早めに販売店に依頼されることをおすすめします。(有料)

■点検時期外でも、異常を感じた場合上記の点検を実施し、調整・修理してください。

かるがも本体仕様書　（カゴ等パーツ詳細はカタログにてご確認下さい。）

＜寸法＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

<table>
<tr><td></td><td colspan="4">寸法表</td></tr>
<tr><td rowspan="2">品　番</td><td>ＫＲＧＭ-Ｇ1</td><td>ＫＲＧＭ-Ｇ2</td><td>ＫＲＧＭ-Ｍ2</td><td>ＫＲＧＭ-Ｇ1-Ｃ</td></tr>
<tr><td>前カゴ小</td><td colspan="2">前カゴ大</td><td>前カゴ小</td></tr>
<tr><td>全　長　（cm）</td><td colspan="2">175.5</td><td>188.5</td><td>158</td></tr>
<tr><td>全　幅　（cm）</td><td colspan="4">60</td></tr>
<tr><td>重　量　（kg）</td><td>25.5</td><td>26.9</td><td>26.0</td><td>23</td></tr>
<tr><td>アシスト付</td><td>30.3</td><td>31.7</td><td>33.3</td><td>28.1</td></tr>
<tr><td>サドル高さ　（cm）</td><td colspan="2">65~80</td><td>68~82.5</td><td>70~88</td></tr>
<tr><td>適応身長　（cm）</td><td colspan="2">140</td><td>145</td><td>140</td></tr>
</table>

＜仕様＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

<table>
<tr><td rowspan="2" colspan="2">品　番</td><td>ＫＲＧＭ-Ｇ1</td><td>ＫＲＧＭ-Ｇ2</td><td>ＫＲＧＭ-Ｍ2</td><td>ＫＲＧＭ-Ｇ1-Ｃ</td></tr>
<tr><td>前カゴ小</td><td colspan="2">前カゴ大</td><td>前カゴ小</td></tr>
<tr><td rowspan="3">前　輪</td><td>（ｲﾝﾁ）</td><td colspan="4">20</td></tr>
<tr><td>タイヤサイズ</td><td colspan="4">20×1.75</td></tr>
<tr><td>リム</td><td colspan="4">アルミ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">後　輪</td><td>（ｲﾝﾁ）</td><td colspan="4">20</td></tr>
<tr><td>タイヤサイズ</td><td colspan="4">20×1.75</td></tr>
<tr><td>リム</td><td colspan="4">アルミ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">補助輪</td><td>（ｲﾝﾁ）</td><td colspan="4">12</td></tr>
<tr><td>タイヤサイズ</td><td colspan="4">12 1/2×1.75</td></tr>
<tr><td>リム</td><td colspan="4">アルミ</td></tr>
<tr><td colspan="2">変速機</td><td colspan="4">内装３段変速機</td></tr>
<tr><td colspan="2">変速方式</td><td>ピアノタッチ
（3段階レバー方式）</td><td colspan="2">レボシフト
（3段階グリップ方式）</td><td>ピアノタッチ
（3段階レバー方式）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ハンドル形状</td><td>セミアップハンドル</td><td colspan="2">U字型ハンドル</td><td>セミアップハンドル</td></tr>
<tr><td colspan="2">前ブレーキ</td><td colspan="4">ローラーブレーキ</td></tr>
<tr><td colspan="2">後ブレーキ</td><td colspan="4">ローラーブレーキ</td></tr>
<tr><td colspan="2">ライト</td><td colspan="4">ハブダイナモ式オートライト</td></tr>
<tr><td colspan="2">側輪ロック方式</td><td colspan="4">ロックボタン付ブレーキレバー</td></tr>
<tr><td colspan="2">ハンドルロック方式</td><td colspan="4">くるピタ</td></tr>
<tr><td colspan="2">後部キャリア</td><td colspan="4">高剛性フレーム一体型</td></tr>
<tr><td colspan="2">ベル</td><td colspan="4">○</td></tr>
<tr><td colspan="2">カギ</td><td colspan="4">ワイヤー錠</td></tr>
</table>

〈品質保証規定〉

保証の適応除外

次に示すものに起因する故障は保証修理の対象となりません。（使用者負担になります）
ア. 使用者の使用上の不注意によるもの。
イ. 衝突、転倒、道路の段差等に乗り上げまたは溝等に落ちて生じたもの。
ウ. 法令の違反行為によって生じたもの （最大積載量オーバー、二人乗り等）。
エ. 保守、整備の不備または間違いにより生じたもの。
オ. 当社が指定する定期点検調整を実施しなかった場合。
カ. 使用者が構造、機能を改造または変更したため生じたもの。
キ. 酷使又は一般に自転車が走行しない場所での走行 （道のない山岳ツーリング、道のない土手の傾斜面等）により生じたもの。
ク. レンタサイクルなど不特定多数で使用される場合。
ケ. 地震、落雷、火災、水害、公害、その他人災、天災、地変によって生じたもの。
コ. 手入れ不十分、保管場所の不備及び時の経過により生じた塗装面、メッキ面その他これに類する不具合及びプラスチック部品等の自然退色。
サ. 部品の通常の摩擦又は疲労と認めたもの（タイヤ、チューブ、ブレーキ用ゴム等のゴム類、サスペンション摺動部、電動アシスト用バッテリ）
シ. くぎ、ビン、ガラス、切削くず、鋭利な石ころ等で生じるパンク。
ス. 一般に機能上の影響のない感覚的現象 （音、振動等）。
セ. 本保証書に示す条件以外の費用等。
ソ. この保証書は盗難保険ではありません。盗難保険及び防犯登録については販売店にご相談下さい。

◇保証修理を受けるための条件及び手続き

・保証修理を受けるためには次のことがらをご了承願います。
・保証修理を受ける場合、本保証書と自転車をご持参下さい。
・なお本証の提示がないと保証修理は受けられません。本保証書は字句等を書換えた場合無効とします。
・ご贈答、転居及び他に譲渡する場合についてはお買上げ店にご相談下さい。
・お買上げの自転車は初期点検 （2ヶ月以内） その後 1 年ごとの定期点検を受けてください。
・この定期点検を受ける際には自転車と定期点検調査チェックリストをご提示して下さい。定期点検、調整は有料です。
・この保証書は日本国内で使用される自転車で、車体ナンバーの刻印があるものに適用されます。海外に持出す場合はその時点で打ち切りとなります。
・保証修理に関するお問合せは、お買上げ店でご相談下さい。
・修理に関し出張修理の依頼を受けたときは、出張費を請求する場合があります。
保証対象外部品 （次に示す物の、交換修理は使用者負担となります。）
カゴ、バック、ドレスガード等の付属品、ブレーキワイヤー、ギヤチェンジ用ワイヤー、ワイヤー取り付け金具、コード類、ダイナモゴムローラー、乾電池、電装品、電球、レンズ、電動アシスト用バッテリ、その他、上記項目「コ」・「サ」の項の摩耗品及び疲労品、使用者が、ご自分で取り付けた部品、サスペンション内部摺動部部品（スリーブ・ゴム）
●この保証書は、本書に明示した期間、条件に基き保証修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
●保証書期間経過後の修理等についてご不明の点はお買い上げ店又は、相談窓口（品質保証書記載の住所）にご相談ください。
●部品の保有期間
保障期間経過後でも性能を維持するための補修機能部品は、お買上げ店又は、製造業者に常時保有しております。
但し、新型が売り出された場合は、新型で保有しておりますので予めご了承願います。

〈販売店へのお願い〉

●品質保証書を発行する際は、保証書の各項目をご記入お願いします。

●（控）は貴社の控えとして必ず大切に保存してください。（保存期間は 10 年です）

●（保証書）の販売店名欄に貴社名を記入捺印してお客様に必ずお渡しください。

製品についてのお問い合わせ、ご相談は、保証書に記載された販売店若しくは製造元へご連絡下さい。

防犯登録について

●防犯登録をすると･･･

登録すると盗難防止や被害時の早期発見につながります。

料金は各都道府県によって異なります。（500 円～1,000 円）非課税

●登録方法

自転車を販売しているお店（防犯登録店）で登録することができます。

所有者の住所・氏名や自転車の特徴を記載した登録カードを作成し、

登録証〔ステッカー〕を自転車の車体に貼ります。

登録カードの控えは大切に保管してください。

LandWalker Ltd.

http://www.landwalker.co.jp

ランドウォーカー株式会社

〒564-0044 大阪府吹田市南金田 2 丁目 20 番 10

(株) カワムラサイクル大阪サービスセンター内

TEL 06-6310-3380　 FAX 06-6310-3381

LW2011.07 版